

子ども同士が教え合う

「学び合い」授業実施

提唱者が方法アドバイス

松梅小

佐賀市

佐賀市大和町の松梅小

小で、子ども同士で教え合いながら学習する「学び合い」の授業があった。授業法を提唱した上越教育大(新潟県)の西川純教授が視察。子どもたちが活発に意見を交わしたり、学習意欲を高める方法などをアドバイスした。



「学び合い」の授業についてアドバイスする西川純教授(左奥)＝佐賀市大和町の松梅小

める方法などをアドバイスした。同校は6月から3年の算数の授業で「学び合い」を取り組んでいる。視察授業は4年への導入開始(11月13日)に合わせて実施した。学年交流として3、4年14人が同じ教室で、数字の位の教え方など学年別の課題に取り

組み、答えを導き出した。授業後、西川教授は同校教諭に、課題は簡潔にして学び合う時間をより増やすよう解説。「全員で目標を達成する意識を子どもたちが持つのが大事。課題解決への意欲が高まり、コミュニケーションも深まる」と話した。また、「教諭は一方的

に教えるのではなく、児童が教諭から信頼されていく」と話した。
(山本)